

不惑カテゴリーにおける連絡協議会設立の検討について

埼玉県ラグビーフットボール協会
社会人クラブ部会事務局
小野 芳博

平素より県ラグビー協会への事業におけるご理解、ご協力を頂きありがとうございます。
2019年のRWC熊谷開催を機に埼玉県内のラグビー熱も高まり、各方面でも注目を浴びるようになりました。また、埼玉パナソニックワイルドナイツが熊谷に本拠地移転したと共に各種事業が膨らんでおり、試合運営等のお手伝いも各チームにお願いしておりますが、
埼玉県ラグビーフットボール協会内においてはさまざまな整備がなされております。

- ・協会事務局のラグビー場内へ移転
- ・協会内組織の明確化
- ・各種事業の計画、報告等

我が社会人クラブ部会においても県内社会人大会など年間の事業計画を提出しておりますが、不惑カテゴリーにおける事業（大会、試合結果）は記載していません。

また、この事業計画を元に熊谷ラグビー場など（熊谷荒川G含む）の利用調整を事務局でされていますが、

県内不惑大会等での利用については別枠での取り扱いになっているようです。

いままで熊惑の島川さんにおける要所への陳情、調整により、難なく利用、実施できていることと伺っております。

また、ねりんピック等など埼玉県のチームとして参加する大会は武惑の鈴木さんが取り纏めされてることも聞きました。

クラブチームが減少している中、中高年のラグビープレイヤーが活気を見せている今般個々の力に頼るのではなく、不惑カテゴリー内で少しずつでも整備されて、機能的な組織を作り上げ活性化させるためにも

各チームから選出されたメンバーで連絡協議会を設立するのは如何でしょうか？

という提案をいたします。

連絡協議会の主

- ・部会との連携
- ・各チームの情報共有
- ・県内不惑大会の実施要項作成、運営
- ・年間事業計画の作成、報告 など

※ 県協会で事業計画として認められると・・・

- ・グラウンド確保
- ・大会においては県協会主催として開催
- ・予算立て（大会での経費）
- ・レフリーの派遣
- ・ドクター派遣（?）
- ・試合結果の県協会HP掲載
- ・講習会（ルールやスキルなど）の実施

今まで通りと変更ないと考えるのなら、それはそれでもアリだと思います。